

宇治市第6次総合計画基本構想（案）

2021（令和3）年12月23日

1.第6次総合計画基本構想(案)について

【目指す都市像について】

目指す都市像は、20年～30年後も視野に入れた長期的な展望に立った本市の将来像を示したものです。

目指す都市像	考え方
<p>一人ひとりが輝き 伝統と新たな息吹を 紡ぐまち・宇治</p>	<p>個人を尊重し、一人ひとりを大切にする社会を構築することで、人と人がつながるまちづくりを進めるとともに、お茶、歴史、文化など、これまで引き継がれてきた宇治市の良さを継承しながら、それぞれの新たなチャレンジを応援することにより、宇治市の新たな魅力を創出することで、これまで以上に誇りと愛着を感じることもできる宇治のまちを創造します。</p>

1.第6次総合計画基本構想(案)について

【まちづくりの方向について】

目指す都市像を実現するため、新たにまちづくりの土台となる取組を設定するとともに、5つのまちづくりの方向を定め、それぞれの視点から、新たな宇治のまちを目指します。

No	まちづくりの方向	目指すまちづくり	考え方
1	安全・安心に 住み続けら れるまち	身近に起こる自然災害や犯罪などから市民の生命と財産を守るため、関係機関との連携強化や市民一人ひとりの意識の向上を図るなど、安全・安心に住み続けられるまちを目指します。	<ul style="list-style-type: none">● 近年、全国各地で発生している地震や局地的豪雨などの自然災害に対応するため、災害に関する情報発信の強化や浸水被害を防ぐための河川改修・治水対策など、計画的な防災対策の充実を図ります。● 市民自らが、身近に起こる災害や犯罪等から、生命と財産を守るため、地域による予防活動や自主防災組織の育成など、市民一人ひとりの防犯防災に対する意識の向上を図る仕組みづくりを進めます。● 複雑化する犯罪や大規模化する災害等に備えるため、市民への啓発活動をはじめ、市民や関係機関と連携した取組を進めるとともに、消防・救急体制の充実を図るなど、持続可能な防災防犯体制の確立に努めます。● 地球温暖化をはじめとする環境問題が一因と考えられる自然災害が多発する中、安全で安心して暮らせる生活環境を守るため、行政をはじめ市民一人ひとりの意識の向上を図るなど、環境に配慮した持続可能なまちを目指します。

1.第6次総合計画基本構想(案)について

【まちづくりの方向について】

目指す都市像を実現するため、新たにまちづくりの土台となる取組を設定するとともに、5つのまちづくりの方向を定め、それぞれの視点から、新たな宇治のまちを目指します。

No	まちづくりの方向	目指すまちづくり	考え方
2	子育て・子育て支援が充実したまち	人口減少、少子高齢化が進む中、次代を担う子ども達を育てるため、結婚から妊娠・出産・子育て・学校教育に至るまで、安心して子育てができる環境とともに子どもが育つ環境づくりを進め、子育て・子育て支援が充実したまちを目指します。	<ul style="list-style-type: none">● 子育て世代の希望をかなえるため、結婚から妊娠、出産、子育ての切れ目のないきめ細やかな支援や地域で子育てを支える仕組みづくりなど子育てにやさしい環境づくりを推進します。● 幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものとされているため、すべての幼児に対し、幼児教育・保育の一層の充実を図ります。● 急速に変化する社会に対応するため、自らの力で新しい時代を切り拓く子どもを育てる学校教育をはじめ、地域との協働体制の充実を図るなど、子どもが育つ教育環境の充実を図ります。● 新しい時代の学びを実現するため、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や多様なニーズに応じた施設の高機能化、多機能化など、学校教育環境の向上を図ります。

1.第6次総合計画基本構想(案)について

【まちづくりの方向について】

目指す都市像を実現するため、新たにまちづくりの土台となる取組を設定するとともに、5つのまちづくりの方向を定め、それぞれの視点から、新たな宇治のまちを目指します。

No	まちづくりの方向	目指すまちづくり	考え方
3	誰もがいきいきと暮らせるまち	誰もが住み慣れた地域の中で、いつまでも安心して、自分らしく健康で元気に暮らせるよう、必要な支援を受け、みんなで支えあう、誰もがいきいきと暮らせるまちを目指します。	<ul style="list-style-type: none">● 主体的な地域活動や様々な地域団体、NPO等との連携を促進し、地域コミュニティの活性化を図り、誰もが安心して住みやすいと感じることができるまちを目指します。● 社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度や分野などの関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながり学びあうことで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現を目指します。● 複雑化・複合化した地域課題に対応するため、属性や分野を超えた支援体制を構築し、課題を抱える住民やその世帯への包括的な支援など、地域住民等による地域福祉の推進を展開しやすい仕組みづくりを進めます。● 誰もが生涯にわたって心身共に健康で、笑顔あふれる自分らしい生活をおくることができるよう、一人ひとりの自発的な活動の促進や状況に応じた支援をするなど、希望と生きがいを持って、住み慣れた地域で暮らせるまちを目指します。

1.第6次総合計画基本構想(案)について

【まちづくりの方向について】

目指す都市像を実現するため、新たにまちづくりの土台となる取組を設定するとともに、5つのまちづくりの方向を定め、それぞれの視点から、新たな宇治のまちを目指します。

No	まちづくりの方向	目指すまちづくり	考え方
4	地域経済が活発なまち	誰もが便利で安全・安心に移動できる、地域特性を活かした都市基盤整備とともに、将来にわたって持続発展できる強い市内産業をつくるなど、地域経済が活発なまちを目指します。	<ul style="list-style-type: none">● 地域経済をより一層活性化させるため、地域特性を活かした産業立地や市内での多様な働く場の創出など、市内産業が持続的に成長、発展していくまちを目指します。
			<ul style="list-style-type: none">● 様々な地域資源を活用した市内産業の競争力強化を図るとともに、新たな地域資源を活かした産業振興を進めることで、地域経済の活性化につなげます。
			<ul style="list-style-type: none">● 市民の生活や地域経済の発展を支えるため、あらゆる世代・人の移動の利便性・安全性の向上や鉄道駅や高速道路などの地域特性を活かした都市基盤整備など、人や物の交流を活発にするまちを目指します。

1.第6次総合計画基本構想(案)について

【まちづくりの方向について】

目指す都市像を実現するため、新たにまちづくりの土台となる取組を設定するとともに、5つのまちづくりの方向を定め、それぞれの視点から、新たな宇治のまちを目指します。

No	まちづくりの方向	目指すまちづくり	考え方
5	伝統と歴史が輝くまち	人口減少、少子高齢社会の中でも選ばれるまちとなるため、宇治の伝統と歴史を活かした魅力あるまちづくりを進め、未来においても伝統と歴史が輝くまちを目指します。	<ul style="list-style-type: none">● 茶や歴史、文化などは宇治ブランドとしての重要な地域資源であり、これらを守り伝えることが、宇治の魅力を活かしたまちづくりにつながるため、宇治ブランドへの支援や発信など、これまで以上に伝統と歴史が輝くまちを目指します。
			<ul style="list-style-type: none">● 本市の魅力的な地域資源を活かし、宇治ブランドのイメージを国内外に展開することで、市民においても宇治の魅力を再認識し、これらの良き伝統を新たな時代に伝え、さらに発展していくまちを目指します。
			<ul style="list-style-type: none">● 社会状況の変化を踏まえた観光振興が求められており、W I T Hコロナ・P O S Tコロナ時代においても安全・安心に観光ができる仕組みづくりを進めます。

1.第6次総合計画基本構想(案)について

【まちづくりの土台となる取組について】

目指す都市像を実現するため、どのような場面においても必要となる、まちづくりを支える取組を「土台となる取組」と位置付け新しい宇治のまちづくりを進めます。

No	土台となる取組	考え方
1	時代の潮流 を捉えた 市政運営	● 人口減少、少子高齢社会を迎える中、本市を取り巻く社会情勢は急速に変化しており、SDGsやDXなど、急速に変わる社会情勢の変化を的確に捉え、地域課題の解決や産業の発展、行政運営の効率化などに積極的に活用します。
		● 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、日常生活や働き方にも大きな変化が生じており、都市圏においても地方移住の関心が高まる中、WITHコロナ・POSTコロナの新しい時代を見据えたまちづくりを進めます。
		● 市民への迅速で的確な情報提供のため、これまで以上に、様々な媒体を活用し、あらゆる世代に対して宇治市の情報、魅力を戦略的に発信する仕組みづくりを進めます。

1.第6次総合計画基本構想(案)について

【まちづくりの土台となる取組について】

目指す都市像を実現するため、どのような場面においても必要となる、まちづくりを支える取組を「土台となる取組」と位置付け新しい宇治のまちづくりを進めます。

No	土台となる取組	考え方
2	多様な主体との連携・協働と担い手づくりの推進	● 市民と行政がともに目標に向かって取り組むためには、市民や企業、関係団体、NPO、大学等の主体的な関わりが重要なため、市民をはじめ宇治に関わるすべてのひとにより、宇治のまち全体で新しいまちづくりを積極的に進めます。
		● 市民がまちづくりに参加できる仕組みづくりやこれらを担う人材の発掘・育成に取り組み、ひとづくりから始めるまちづくりを進めます。
3	将来を見据えた持続可能な行財政運営	● 人口減少と少子高齢社会が進行する中においても、市民満足度を高め、市民福祉の維持・増進を図るため、PDCAサイクルを徹底し、行政改革を推進することで、より効果的・効率的な行財政運営に取り組みます。
		● 市民の利便性の向上を図るため、時代の変化に適切に対応し、多様な市民ニーズに応える次世代の人材を育成することにより、一層の行政サービスの充実・改善を進めます。
		● 持続可能なまちづくりには、国や府、近隣市町村との連携が重要であるため、住民の生活環境の確保や災害への対応など、広域連携によるまちづくりに取り組みます。